



2013年3月



アフガン ニュース

最新ニュース

教育指針の選択

新学期が始まる名誉

1億500万人

もの学生が全国で学校に通い始める。これは前年比で150万人増である。

40

40人のトルク人学生がカブール大学で勉強し始める。これは教育水準の向上と平和の拡大を示している。

~40%

40%ほどの女学生が教育を受けられない状況から脱している。



カルザイ大統領が新年にメッセージを届ける

3月20日に隔週のラジオ放送にて、カルザイ大統領が1392年に始まったアフガニスタンの新年に国民を祝福した。大統領は新年が平和や安全、進歩、アフガニスタンの全国民の繁栄に満ち足りるだろうと語った。

教育年となる新年に、大統領は学生たちに勉強出来る時間を有効に使い、両親を尊敬すると共に、礼儀も大切にするよう促した。カルザイ大統領はアフガニスタンは世界の若者教育分野において長期的な先導国となれるだろうと強調した。

開発が急速に継続される

数多くのプロジェクトが日本の支援の下終了しようとしている。そのプロジェクトには、13の学校建設と6つの診療所、道路整備、カブール国際空港の建設などが含まれている。ザルマイ・ラスール外務大臣がパートナーシップに関する同意書に調印した。

動力伝達と配電網開発プロジェクトがアフガニスタン北部、中部、東部で計画されていて、アジア開発銀行が支援している。

今号のコンテンツ

最新のニュース Pg.1-3

(Continued on page 2)

アフガニスタンの生産物が国内だけでなく海外でも需要が増え続けるといふ利点から、改善はアジア開発銀行の支援の下で交通インフラに対しても計画されている。これには、約188キロにわたる地方と国の道路の建設と復興も含まれている。

**ファティミ大使が
東日本大震災追悼式典に参加**



東日本大震災から2年が経過した3月11日、サイド・ムハンマド・アミン・ファティミ駐日アフガニスタン大使が外務省主催の慰霊式典に参加した。

被災者への哀悼の意を大使は、「日本を苦しめた悲惨な災害から2年が経過した。それぞれの



生活が失われ、破壊的な局面が人々や政府を悲しませました。制限があるにもかかわらず、私達は出来る限りのことを申し入れました。政府と大使館の義援金が与えられ、私は被災者に対して物資を運ぶことで彼らを支援することが出来たことをうれしく思います。私達はあなた方の強さを尊敬しています。アフガニスタンの人々は復興には時間がかかるが、日本の人々が出来ることを知っています。今そして将来の為に一緒に立ち上がりましょう。」と述べた。

ジャバル・タクワカブル名誉総裁が参加した。



**アンドラ・ガンディー
子供病院**

高度医療機器を受け取る


カブールにあるアンドラ・ガンディー子供病院が日本と国際移住機関から医療診断機器を買い取り子供の請負体制を向上させる為に設置した。日本と国際移住機関はまたスタッフの請負体制にも積極的に支援している。これらは、子供の平均寿命の更なる低下に貢献している。

国際女性の日を祝う




3月8日の国際女性の日を祝う為に数多くのイベントが開催された。カブールでは、アフガニスタン青年団市民社会という集まりが開催され、アブドゥル・

アフガンのスポーツ選手活躍
サッカーのアフガニスタン代表は、2014年のAFCチャレンジカップの出場資格を獲得



**Embassy of
the Islamic Republic of Afghanistan**



H. E. Dr. Sayed M. Amin Fatimie
Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary

Two years have passed since tragic disasters afflicted your noble nation. While our Embassy in Tokyo felt the effects, we were struck by the suffering elsewhere, particularly in the Tohoku region. Each life lost and every scene of destruction further saddened our people and Government.

Despite limitations, we offered what we could. Government and Embassy funds were given, and I was honored to personally help deliver supplies to evacuees. For what we contributed, we received more. We were inspired by your strength. Afghans know firsthand that rebuilding takes time, but Japanese people are capable. We stand together with you now and forever.



した。代表はスリランカとモンゴル代表に1対0で勝利し、ラオス代表とは1対1で引き分けた為通算成績が2勝1分であった。アフガニスタンの格闘家シアー・バハドゥルザダ選手が日本で開催されたアルティメット・ファイティング・チャンピオンシップという大会に参加した。ファティミ大使と外交官がシアー選手と面会し、言葉を交わした。

地域経済、貿易に建設的影響が出るようアフガン、タジク、トルクメンを繋ぐ鉄道計画進める

線路はハタマラット地方から始まりヤンナズ経由でシェールカーンバンダルに続き、さらにタジキスタンやアフガニスタン領土内にも450キロにも渡って線路で繋がれる。計画の技術調査は数ヶ月内には始まり、この計画が成功すると3カ国間の貨物輸送がより大規模かつ容易に行えるようになる。アフガニスタン、タルクメニスタンとタジキスタンを繋ぐ線路の建設理解の概要書は、ハイラタン港か

ら北バルフ州に位置するマザールリシャリーフを繋いだ77キロに及ぶ線路が建設された際に署名された。

106-0041 東京都港区麻布台2-2-1
在日本国アフガニスタン大使館

電話・ファックス
Tel: 03-5574-7611 ・ Fax: 03-5574-0195

ウェブサイト
www.afghanembassyjp.org



Contact Us

当大使館のニュースレターに関するご意見、ご質問等ございましたら、大使館広報部 Jason Pratt宛に電子メールにてご連絡下さい。

pratt@afghanembassyjp.org
Facebook: www.facebook.com/afghanembassyjp
Twitter: @afgembtoko



アフガニスタン大使館ポッドキャスト

